

## 中央図書館 地下書庫資料の一部利用休止について Q&A

Q1. なぜ電動集密書架の工事にともない、資料が利用休止となるのですか？

A1. 連結する電動集密書架(1ブロック)ごとに工事を行うため、工事期間中はブロック全体の電源を落とします。そのため棚を開閉することができず、資料の出納(取り出すこと・納めること)が出来なくなります。

Q2. 利用休止の資料は、蔵書検索システム(K-lib ネット)ではどうなるのですか？

A2. K-lib ネットには表示されません。なお、工事とは異なる事情で表示されない可能性もありますので、個別の資料については中央図書館へ電話または3階カウンターにてお尋ねください。

Q3. 利用休止中で蔵書検索システム(K-lib ネット)に表示されない資料も予約できますか？

A3. 図書館カウンターにて、予約カードで受け付けます。ただし、ご提供できるのは、予約された資料の入っている書架ブロックの工事が終了してからになります。

Q4. 利用休止中の資料を、他の自治体の図書館から取り寄せることはできますか？

A4. お急ぎでしたら、相互貸借制度により、他の図書館から神戸市立図書館へお取り寄せいたします。取り寄せをしたい神戸市立図書館の窓口でお申込みください。なお、取り寄せには往復の郵送料をご負担いただくことをご了承ください。

(※兵庫県立図書館、三田市立図書館、神戸市外国語大学図書館からの取り寄せは無料です)

Q5. なぜ、資料の利用休止期間を、具体的な日付で示さないのですか？

A5. 工事の進捗状況により、期間が前後する可能性があるためです。利用休止資料と期間に関する情報更新があれば、ホームページでご案内いたします。

Q6. 年末年始のように、貸出期間の延長は行わないのですか？

A6. 休館ではなく図書館自体は開館しているため、貸出期間の延長は行いません。

Q7. なぜ、特別コレクション(松本海事文庫・吉川文庫)は、11か月という長期間にわたり、利用休止となるのですか？

A7. 工事スペースの確保のため、松本海事文庫・吉川文庫の資料は箱詰めをして、この間、別の場所で保管することになりました。ご迷惑をおかけしますが、ご了承ください。

Q8. 特別コレクションの松本海事文庫、吉川文庫とはどのような資料ですか？

A8. 「神戸市立図書館 事業概要」より一部引用

○松本海事文庫

元新日本汽船社長、松本一郎氏が長年にわたり収集してきた港湾・海運・貿易を中心にした洋書を含む広範な資料。

○吉川文庫

中国文学者、吉川幸次郎博士が長年にわたり収集してきた文学、哲学、史学を中心とする集書。